



歴代最強寒波到来 明日も備え怠らず!

今季最強の寒気が流れ込みました。この影響で、普段は雪が積もりにくい太平洋側でも所々で積雪となりました。今日25日は気温が上がらず、明日26日朝も厳しい冷え込みが続くため、路面凍結に注意が必要だそうです。明日も寒さへの備えを怠らないようにしておきましょう。

大雪は私たちの生活に大きな影響をもたらします。普段大雪に見舞われることの少ない地域への影響はかなり大きくなります。情報をこまめに確認し、事前の準備をしっかりとっておきましょう。大雪に関する気象情報は、数日前から発表されます。予想降雪量、降雪のピーク(注意を要する時間帯)などは随時最新の情報を確認し、事前対策の目安にしましょう。

写真は、25日の一時間目の様子です。薄っすらと雪の白さが校庭に広がっている中、1年生は、生活科で中庭の様子を観察していました。2年生は、運動場で元気にサッカーをしていました。子供たちにとっては、この寒さすら楽しんでいるように思えます。



世界の病気を知ろう!

新型コロナウイルスは、感染が認められて、3年もの月日が経過しました。一向に収束の気配は見られないまま、今後第5類への変更も議論されるようです。

さて、世界には「顧みられない熱帯病」と呼ばれるグループの感染症があります。主に貧しい国で流行しているため、薬を開発してもお金にならないと思われて、対策が進んでいない病気です。20種類の病気が指定されていて、10億人以上の生活や健康に影響を及ぼしています。この顧みられない病気に、日本でも多くの方が苦しめられました。近年では、2013年に、中央・南アメリカに多い「シャーガス病」に罹った人が、国内で何度も献血をしていたことがわかり、ニュースになりました。この病気は体内に寄生虫が入り込んで心臓などの病気を起こします。他にも14年に東京都の代々木公園を中心に広まった「デング熱」もその一つです、デング熱は東南アジアなどで多く見られ、ウイルスを運ぶ蚊を媒介として高熱が出て、適切な処理をしないと死に至ることもあります。

国内外の移動が簡単になったり、地球温暖化が進んで、ウイルスを媒介する虫が日本に住んだりするようになれば、他国の病気もいつかは身近なものになるかもしれません。世界の感染症を無くすために、どのような病気があるのか、どんな取組が行われているか興味をもつことが大切です。そのことがひいては、「顧みられる熱帯病」となり多くの人の命を救うことに繋がるはずですよ。

